

公開講座「総合2019」

テーマ 〈井の中の私、大海を知る—先人たちも、もがいて成長した—〉

自由に生きる人を取材して



ノンフィクション作家

かわうちあり お

川内有緒氏

第21回 12月5日(木)

13:00~14:30

@津田塾大学特別教室

<プロフィール>

米国の企業やシンクタンク、フランスの国連機関などに勤務し、国際協力分野で12年間働く。2010年からはフリーライターとして評伝、旅行記、エッセイなどを執筆。自分らしく生きること、誕生と死、アートや音楽などの「人生の表現活動」が主なテーマ。著作は『パリでメシを食う。』（幻冬舎）ほか。『バウルを探して地球の片隅に伝わる秘密の歌』（幻冬舎）で新田次郎文学賞、『空をゆく巨人』（集英社）で第16回開高健ノンフィクション賞を受賞。現在は子育てをしながら、執筆や旅を続けている。趣味は美術鑑賞とDIY小屋づくり。また2坪のギャラリー「山小屋」（東京）を運営している。

<担当者より>

型に縛られずに自分のやりたいことができたなら、すぐにその世界に飛び込む川内さんの勇気と柔軟性は、将来が身近に迫った津田塾生にも学ぶ点があるのではないかと思います。一つ一つの経歴はバラバラで点にしか見えないけれど、俯瞰して人生を見てみたら、一本の人生の道になっていた…。そのような生き方が、できたらとても素敵だと思いませんか？私たち大学生はまだ世界が狭く、この道に進むにはこういう方法しかない、と思い込んでしまいがちです。そんな私たちにとって、川内さんの生き方は、自由に自分のやりたいように生きる道を知り、今後の将来を考える上で良い指針となるのではないかと思います。